

Ⅲー２ わくわくプログラミング（PTA文化教育委員会活動）

１ 実践の概要

①日 時 令和元年１０月２７日（日）９：００～１２：００

②講 師 今川 一生 先生

③内 容

本校では、子どもたちに普段の学校生活では経験できない貴重な体験ができる場を提供することを目的として、PTA活動である「わくわくスクール」を開催している。令和元年度は、12講座の中の一つに「わくわくプログラミング」が開設された。当日は、保護者の方に講師をしていただき、３～６年生の児童15名が参加した。

はじめに、講師の先生から「プログラミングとは何か」についての話をうかがった。これからの生活にプログラミングが必要なこと、プログラミングによって動くおもちゃやドローン等があること、ドローンが宅配や災害時に役立つこと等について説明があった（写真１）。次に、Scratchの画面の説明やサンプルプログラムが書かれたテキストが配付された（写真２）。そして、テキストのサンプルプログラムを参考にしながら、ネコやネズミを動かすプログラムを作った（写真３）。



写真１＜プログラミングの話を聞いている様子＞

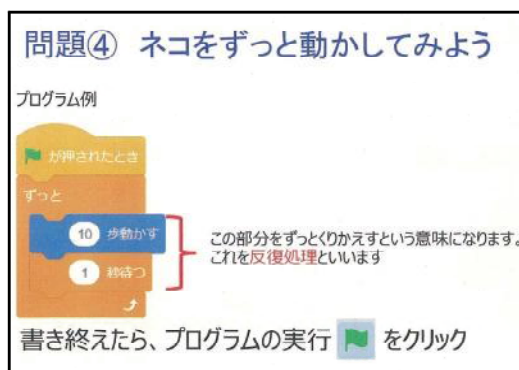


写真２＜テキストのサンプルプログラム＞



写真３＜プログラムする様子＞

２ 子どもたちの様子

- 歩数や速さなどの数値を変えたり、ブロックの順序を入れ替えたりすることで、プログラムどおりにネコやネズミが動くことに面白さを感じていた。
- 講師の先生からプログラミングのよさを聞いたり、実際にプログラミングを体験したりすることを通して、プログラミングに対する興味・関心を高めていた。